

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
昭和・津田地区

平成24年1月

徳島県徳島市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	津田地区消防団員充足割合	%	82	100	100	確定	○	あり	100	H23年4月	○	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	消防分団の新築・移転、同報無線の整備により、地区の消防力が向上され、指標が達成された。
指標2	津田地区(南東部)津波避難者収容率	%	5	14	11.8	確定 見込み ●	△	あり なし ●	12	H23年8月	△	消防分団の避難者収容人数が当初予測を下回ったため。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	指標は未達成だったが、地区の避難者収容率は従前値より増加し、一定の成果を挙げた。
指標3	公共施設耐震化率	%	33.3	53.3	86.7	確定 見込み ●	○	あり なし	86.7	H23年4月	○	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	消防分団、交流センターの新築、保育所の改築により、公共施設耐震化が推進され、指標が達成された。
指標4						確定 見込み		あり なし					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	自主防災組織数	組	34	/	56	確定 見込み ●	/	/	56	H23年7月	/	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路、避難場所の整備推進により、住民の防災意識が向上し、自主防災組織数は従前値より増加した。
その他の数値指標2	小学校前カラー舗装整備率(市内全域)	%	6	/	41	確定 見込み ●	/	/	41	H23年4月	/	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	小学校前カラー舗装の整備推進により、児童の通学の安全性向上、交通の円滑化に寄与した。
その他の数値指標3	橋りょうの落橋防止対策実施率	%	20	/	30	確定 見込み ●	/	/	30	H23年4月	/	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	橋りょう落橋防止対策の整備推進により、災害時の避難経路、通行車両や人の安全・安心が確保された。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるための 行う方策	耐震化事業の推進	地区をはじめ市内の既存建築物(主に昭和56年以前の木造建築)を対象に「耐震診断事業」・「耐震改修事業」を実施した。	耐震診断(地区98件、市全体484件)、耐震改修(地区6件、市全体38件)。住民の防災意識の向上、生活拠点の住宅の耐震化が推進された。	耐震診断、耐震改修が未実施の既存建築物も残っており、近い将来発生が予想される東南海・南海地震に備え、地区の防災・減災を目指すため、今後も耐震化事業の推進に努める。
	地区内における更なる避難場所の確保と避難路の強化	地区をはじめ市内各事業所の人員、資機材及び技術を防災力向上に活用し、市と各事業所との連携、共助体制強化を図るため、「徳島市防災協力事業所登録制度」を実施した。	防災協力事業所登録数(地区6事業所、市全体96事業所)	近い将来発生が予想される東南海・南海地震など災害発生時の被害を抑制し、地区の住民の安全・安心を確保するため、今後も防災協力事業所の登録数増加を図ることが課題である。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	住民の防災意識の向上を今後も図っていく必要がある。	地区の自主防災組織・町内会を対象に、「防災講演・防災指導」を行った。	防災講演・防災指導実施回数(地区15回、市全体166回)	東日本大震災の発生を受け、住民の防災に対する関心は更に高まっており、今後も継続して防災講演・防災指導を行い、防災意識の啓発と向上に努める。
	地区の防災体制を強化させていく必要がある。	地区の防災体制を強化する一環として、「自主防災組織」の結成を推進した。	自主防災組織数(地区56組、市全体634組)	東日本大震災の発生を受け、地区の防災力強化に関する住民の意識は向上しており、住民間の連携による防災活動を強化するため、今後も自主防災組織の結成の推進に努める。
	地区の避難場所と避難路の周知を図る。	地区の避難場所・避難路等を明示し、災害発生時に住民が迅速・安全に避難することができるよう、「徳島市総合防災マップ」の見直しを行った。	徳島市総合防災マップは、市内の全世帯・事業者等に直接配布したほか、市ホームページにも掲載し、災害発生時の対応を広く周知した。	近い将来発生が予想される東南海・南海地震など、津波発生時の避難方法に関する住民の不安が高まっており、「徳島市津波避難計画」を新たに策定した。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
昭和コミュニティセンターの整備	地区の防災及びコミュニティ活動の拠点となる昭和コミュニティセンター(児童館併設)を整備する。	H24年度～H25年度	地区の防災及びコミュニティ活動の拠点整備により、地区内の避難場所の確保、防災体制の強化が期待されている。近い将来発生が予想される東南海・南海地震に備え、住民間の連携、防災意識の更なる向上が課題である。